

授業科目

相談援助演習IV

担当教員名 春木 邦子	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	○	◎	◎

授業の概要

地域福祉援助活動（コミュニティワーク）の事例をもとに、ニーズ把握からサービス評価に至るプロセスについて、小グループでのディスカッションと全体発表を段階的に積み重ねながら、一連の援助過程を実践的に理解するとともに、それを理論的に体系立てられる思考力と表現力を身につける。
保健・医療・福祉の連携、地域ネットワークの活用や連携における専門職としての視点（思考）と方法（技能）を学び、その習得を目指す。

授業の目的

本授業では、相談援助演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで学んだ内容を踏まえ、地域住民のニーズや地域に所在する社会資源の把握方法、社会資源の活用・調整・開発やネットワーキング、地域福祉計画の作成過程等について、主に小グループによる事例検討や発表を通して実践的に学ぶことを目的とする。

学習目標

1. 地域住民へのアウトリーチとニーズ把握について実践的に取り組む
2. 地域福祉計画について実践的に取り組む
3. ネットワーキングについて実践的に取り組む
4. 社会資源の活用・調整・開発について実践的に取り組む
5. サービスの評価について実践的に取り組む

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーションとグループの編成	講義・演習（アイス・ブレイキング）	春木 邦子、山本、安部、片山、藤沢、星野、波多野、武井
2	地域福祉援助活動の展開 1	グループでの演習および作業	春木 邦子、山本、安部、片山、藤沢、星野、波多野、武井
3	地域福祉援助活動の展開 2	グループでの演習および作業	春木 邦子、山本、安部、片山、藤沢、星野、波多野、武井
4	地域福祉援助活動の展開 3	グループでの演習および作業	春木 邦子、山本、安部、片山、藤沢、星野、波多野、武井
5	地域福祉援助活動の展開 4	グループでの演習および作業	春木 邦子、山本、安部、片山、藤沢、星野、波多野、武井
6	地域福祉援助活動の展開 5	グループでの演習および作業	春木 邦子、山本、安部、片山、藤沢、星野、波多野、武井
7	地域福祉援助活動の展開 6	グループでの演習および作業	春木 邦子、山本、安部、片山、藤沢、星野、波多野、武井
8	地域福祉援助活動の展開 7	グループでの演習および作業	春木 邦子、山本、安部、片山、藤沢、星野、波多野、武井
9	地域福祉援助活動の展開 8	グループでの演習および作業	春木 邦子、山本、安部、片山、藤沢、星野、波多野、武井
10	地域福祉援助活動の展開 9	グループでの演習および作業	春木 邦子、山本、安部、片山、藤沢、星野、波多野、武井
11	地域福祉援助活動の展開 10	グループでの演習および作業	春木 邦子、山本、安部、片山、藤沢、星野、波多野、武井
12	地域福祉援助活動の展開 11	グループでの演習および作業	春木 邦子、山本、安部、片山、藤沢、星野、波多野、武井
13	事例検討の考察・総括 1	成果発表 意見交換 他	春木 邦子、山本、安部、片山、藤沢、星野、波多野、武井

14	事例検討の考察・総括2	成果発表 意見交換 他	春木 邦子、山本、安部、片山、藤沢、星野、波多野、武井
15	まとめ	意見交換 討論 他	春木 邦子、山本、安部、片山、藤沢、星野、波多野、武井

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	社会福祉士 相談援助演習 第2版	日本社会福祉士養成校協会 監修	中央法規	2015年	2,600円+税	
その他の資料						

評価方法

参加態度、課題の達成度（発表やレポート）に基づき評価する。

履修上の留意点

- ・グループ演習が中心となるので遅刻、無断欠席は厳禁。
- ・相談援助実習III（本実習）における連携やチームアプローチ、実習先と地域との関わりといった体験との関連を意識して授業に臨むこと。

オフィスアワー・連絡先

【オフィスアワー】初回授業時にグループ担当教員から通知する

【科目主担当教員研究室】研究棟2（E棟） 3階 E301b研究室

【科目主担当教員メールアドレス】 haruki@nuhw.ac.jp